

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

## 事業名 岐阜県温泉ガストロノミーウォーキング推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境企画課環境企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2696)

E-mail：c11265@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,921千円 (前年度予算額：494千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	494	73	0	0	0	0	0	0	421
要求額	2,921	57	0	0	0	0	0	0	2,864
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ガストロノミーウォーキングは、地域に根ざした食や自然、歴史などの魅力に触れることを目的とした欧米で流行している新たな旅のスタイルであり、日本ではこれに温泉を加えたONSEN・ガストロノミーウォーキングとして、全国的に開催されている。

本県は数多くの温泉を有しているものの、温泉地周辺の豊かな自然環境などの地域資源を一体的に体験できる機会が少ないため、市町村の観光担当者や観光協会等関係者に対して、ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催による地域活性化の影響や、好事例を紹介する研修会を開催するとともに、イベントの魅力を伝え定着化を図るためのPR動画を作成し、県内各地への更なる普及を図る。

### (2) 事業内容

- ・ONSEN・ガストロノミーウォーキング研修会の開催
- ・ONSEN・ガストロノミーウォーキングPR動画の作成

### (3) 県負担・補助率の考え方

ONSEN・ガストロノミーウォーキングの更なる県内への普及を図るものであり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	101	講師謝金、プロポーザル委員報償費
旅費	371	講師旅費、プロポーザル委員費用弁償 313、業務旅費等 58
需用費	42	会議費 5、消耗品費 24、燃料費 13
役務費	30	郵送代等
委託料	2,331	PR動画作成委託費
使用料及び賃借料	36	会場使用料等
負担金、補助及び交付金	10	イベント参加料
合計	2,921	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・第6次岐阜県環境基本計画

基本理念：自然と人が共生する持続可能な「清流の国ぎふ」の実現

### (2) 国・他県の状況

平成29年7月 環境省『温泉地の活性化に向けた提言』

「温泉を中心に、自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした元気になるプログラムの提供が重要」

平成29年度から国内各地で開催。令和元年度には全国で26回開催され、6,500名以上が参加。

### (3) 後年度の財政負担

無

### (4) 事業主体及びその妥当性

「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の更なる県内普及を目指すものであり、県が事業主体となることが妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内各地で「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」を定着させ、国内外からの誘客を図り、自然環境意識の醸成と本県における観光消費額の増大を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
開催回数（累計）	- (H29)	1回 (H30)	3回 (R1)	3回 (R1)	8回 (R3)	37.5%

### ○指標を設定することができない場合の理由

—

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

- 「ONSEN・ガストロノミーウォーキングに関する研修会」の開催
  - ◇開催日 R1.9.13（金）於：OKBふれあい会館
  - ◇内容：①ONSEN・ガストロノミーツアーリズムの概要
  - ②ONSEN・ガストロノミーウォーキングの事例紹介
  - ◇参加者数 21名

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

<令和元年度開催実績>

- ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 中津川 蛭川なんじゃもんじゃ祭り（5/19）
  - ◇参加者実績：330名（満足度：97%）
- 第2回 ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨・平湯温泉（6/22）
  - ◇参加者実績：300名（満足度：95%）

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	本県で初となる「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 平湯温泉」の開催にあわせて、温泉の魅力発信を行うとともに、県内全域に対して当該取組みの浸透を図ることは重要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	平成30年度開催回数：1回（高山市） 令和元年度開催回数：2回（高山市、中津川市） 令和2年度開催回数：0回（高山市、中津川市蛭川・加子母、恵那市、池田町の5回、コロナの影響で全て来年度に延期） 令和3年度開催予定回数：5回（高山市、中津川市蛭川・加子母、恵那市、池田町）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	観光国際局と連携した周知、広報を行うことで、効率的な実施としている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 当該ウォーキングイベントの開催により、温泉地の魅力発信等を実施する一方、地元における継続した取組みにすることが必要。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き研修会等の場で、当イベントの周知等を図る。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

